

ファイネット ファイル配信サービスを実装

あらゆる帳票の電子化に対応



米田成起 営業推進部専任部長



黒田 明 営業推進部長

酒類・加工食品業界の情報系の共有インフラを提供するファイネットは3月1日、新たに「ファイル配信サービス」をリリースする。このサービスは、企業間でやりとりされるあらゆる帳票を電子化し、Webやメールでの配信を実現するもの。これまで提供してきたPDF変換サービスを包含し、大幅に機能を拡張した。

本紙に対し、ファイネットの黒田 明営業推進部長は、「当社は創業以来36年間にわたりEDIを中心に事業を進めてきたが、必ずしもデータ交換を行ったから紙を無くせるわけではない。明細はEDIで完結しているも、請求書の鑑など証憑としての受け渡しがある」と指摘。今回リリースするファイル配信サービスは、「こうした帳票の受け渡しをカバーするもの」と述べ、サービスの内容を次のように説明した。

複数企業間の帳票授受を実現

①あらゆる帳票の電子化に対応 ②商品代金請求書、出荷案内書、販売促進金請求書などの電子化が可能。帳票作成は「変換型」(送信されたCSVファイルから帳票イメージ(PDFファイル)を作成し配信)、「スルー型」(送信されたPDFファイルをそのまま配信(帳票レイアウト不問))に対応しており、「変換型」では酒類・加工食品業界の商習慣にそった標準帳票に加え、各社の個別帳票にも対応可能。

②複数企業間での帳票授受を実現 ③業界共通基盤により、送信側/受信側ともにメリットを享受。送信側は、複数企業宛のデータもファイネットにまとめて送信が可能で、Host送信(インターネット手順等)にも対応しており、EDIと同様に業務の完全自動化を実現。また、受信側は受信した帳票をファイル配信サービスでまとめて管理することが可能で、1つのIDで複数企業が

らの帳票を一括検索・ダウンロードが可能。③安価な料金設定 ④利用料金は原則送信側負担とし、受信側はファイネットの会員/非会員を問わず利用が可能。1通30円から利用可能(配信された帳票の数量に応じた料金のみ)で、標準帳票であれば初期費用や月額費用は不要。先行サービスと比べても安価に利用できる料金設定。

④Host送信にも対応 ⑤EDIサービスと同じく、業務の完全自動化を推進。⑤電子帳簿保存法にも対応 ⑥送信した帳票は標準で6カ月保管できるとともに電子帳簿保存法の各種要件にも対応。オプション機能(23年12月リリース予定)を利用することで最大11年間保管することが可能。

「本サービスに関するお問い合わせ先」

株式会社ファイネット 営業推進部 ☎03-15204-2601 E-mail: marketing-promotion@fnetco.jp

